

日 時:2024 年 3 月 18 日(月曜日)18:15~19:15

会 場:中央区京橋区民館にて Hybrid 開催 (Zoom 関西委員会)

<人名:敬称略、順不同>

会場出席 :嶋、渡辺、及川、下村、島田、橋本、成田、(7 名)

Zoom 出席:今田、中村、友滝、小林(義)、高橋、小林(浩)、堤、春日、北島、清水、山本、野田、(12名)

欠席(委任):平田、竹内、崎尾、高畑、小谷、岡、中山 (7 名)

議 事:議事進行は前回に引き続き事務局今田が進行

※本議事録は会員専用のホームページにアップされますので、概要を理解いただくために理事会で使用した説明資料の PPT の内容と重複する記述がありますが、ご了承下さい。(今回 PPT は議事録に添付します)

<議事内容>

(1)日本包装専士会第 35 回総会内容の確認

※添付の説明資料 PDF を参照ください。議事内容はポイントのみ記します。

- ・2023 年度専士会活動実績の確認
- ・2024 年度専士会活動計画の確認
- ・2023 年度決算概要、2024 年度予算概要の経過説明

(2)その他

JPI「包装技術4月号」紹介と5月号の掲載予定 他

(1)2023 年度委員会活動状況報告 (2023.3.~2024.3.)

【事務局】

2023 年度は7、9、11、翌年1、3月の5回理事会を開催。9月以降は中央区京橋区民館にて Hybrid で開催。

【展示委員会】

TOKYO PACK 2024 は 2024 年 10 月 23-25 日で開催。包装関係者の新人から中堅層をターゲットとしたテクニカルセミナーを無料で開催すること。

【情報委員会】

(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」原稿手配・確認継続。5月号手配中。

【関西委員会】

2023 年度は5、7、11、翌年2、3月の5回、関西委員会を開催。関西ミニセミナーは5、7、11、翌年2月に開催、見学会「太陽ファルマテック(株)高槻工場」を9月に開催した。

【セミナー委員会】

本年から専士会会員サービスに向けたセミナー実施を検討、開催の目的を「仲間づくり」「専門性」に特化し、専門分野を議論することを通して専士会の独自性／差別性を構築こととする。「包装技術セミナー」と「Packaging-Workshop」の2本立てを進める。

- ・第1回包装技術セミナー開催。2023年10月6日 講師:島田賢一氏 於:京橋区民館
- ・第1回 Packaging-Workshop 開催。2024年2月9日 ファシリテーター:及川英之氏 於:京橋プラザ区民館

【未来包装研究委員会】

- ・2023年7月6日如水会館 有田俊雄氏「WPO 生涯包装功労賞」受賞特別講演を企画。
- ・2023年8月25日 Interpack2023 視察報告 講師:島田賢一氏
- ・2023年12月12日 TOKYO PACK 2024 に向けて情報共有会実施
- ・2024年2月20日 包装学会第50回シンポジウム「紙素材を利用した容器包装」 講師:島田賢一氏

【情報システム委員会】

- ・お知らせページの更新。(月刊機関紙「包装技術」の掲載案内、各セミナーの案内等。)
- ・専士会員一斉配信でセミナーや説明会のお知らせの効率化を図った。(技術士包装物流会主催技術士受験説明会、セミナー委員会主催 Workshop 開催等)。
- ・ホームページの閲覧状況を Google アナリティクスを用いて分析。

(2)2023 年度 ICPPJ 活動計画 (2024.4.~2025.3.)

東京パック 2024 の開催年なので各委員会ともこの関係の活動が増えるが、日々の委員会活動、委員会独自セミナーが遅延なきよう進めること。申請予算は調整中のため、議事録からはカットした。

【事務局】

2024 年度も 7, 9, 11, 翌年 1, 3 月の 5 回理事会開催を踏襲する。京橋区民館を拠点に Hybrid を主体とする。

【展示委員会】

TOKYO PACK 2024 は 2024 年 10 月 23-25 で開催。テクニカルセミナーの講師調整。専士会展示ブースの設営と運営。候補者は専士会から 4 名必要、立候補でも可。

【情報委員会】

例年通り(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」原稿手配・確認を継続する。

【関西委員会】

2024 年度は委員会開催 5 回、関西ミニセミナーは 4 回 + 見学会を予定。見学場所は未定。

【セミナー委員会】

Packaging-Workshop を中心に定期開催を企画していく。2024 年 6 月が第一回になる予定。

(3)2024 年度理事、役員について

<退任>

- ・春日洋三氏(細川洋行株) 理事退任 本日退任の挨拶をいただいた。
- ・鈴木主税氏(旧ベルパック) 理事退任 退任連絡入手済み

<継続>

2名を除いて理事会メンバーは継続の予定。問題があれば会長に相談のこと。

会社に所属している限り、異動や転勤はつきもの。これらを前提に専士会組織や人事変更はできない。もし、業務上の課題が生じるような事態になった場合、どのようにすれば専士会を継続できるかをまず先に考えていただきたい。難しければ、役員、委員会、事務局など組織的に解決策を相談いただきたい。

(4)2023 年度決算案の状況

収入) 年会費等 + JPI からの企画料で約 60 万円ではほぼ終了。

支出) まだ一部未精算のセミナー関連経費、交通費、諸経費があるが、約 50 万円程度になりそうである。

繰越金については 170 万円程度の予定。

会計監査については 4 月 15 日前後に実施する予定。

(5) 2024 年度予算計画の見込み

収入) 基本的には年会費収入で、例年並みとして 55~60 万円。

支出) 2024 年度は東京パック 2024 の開催年の為、専士会紹介パネルや未来包装学生コラボなどで総支出 70 万円程度を見込んでいる。各委員会からの要望費用については今後、調整していく。

(6) その他

- ・JPI「包装技術4月号」紹介と5月号は包装専士講座修了者名簿の掲載もあり、会長挨拶と専士会活動紹介等を掲載する予定。(情報委員会)
- ・3月25日はJPI包装専士講座の修了式が挙行される。当会から会長と事務局長が出席する。
- ・2025年の包装界新年会は2025年1月8日に東京會館で行なわれる予定。
- ・総会について
例年と同様に開催案内(年会費請求書同梱)を郵送し、リアル会場参加とする。(Web対応しない)
会場は岡田紙業(株)様のご好意により、東京支店会議室を使わせていただくことになった。
- ・年会費請求とインボイス制度について
会社の費用で年会費を支払をしている場合は会計担当の方から登録 No.など問い合わせがあったりする。
年会費はインボイス対象外。包装専士会は任意団体であり、適格請求書発行事業者登録はしていない。
表現は別として、年会費の請求書に上記趣旨の文言を記載したらどうか、の提案あり。

以上